

おおふな

2026年6月29日 No.86

発行者：森田隼士 編集：情宣部

JR東労組 大船支部

JR東労組第45回定期大会開催！！



大会スローガン

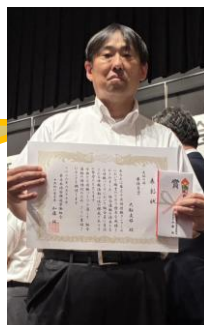
1. 「2026 JR総連春闘」と「過半数代表者選挙」の総括を明確にし、あらゆるハラスメントを撲滅した健全な JR 東日本グループをつくり出すために、職場からの実践で組織の強化・拡大を全組合員でつくり出そう！
1. 「安全・健康・ゆとり」が担保された職場をめざし、「JR 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」をはじめとした会社施策の検証運動の強化、安易な赤字ローカル線の見直しに反対、安全第一・現場第一の JR 東日本をつくり出そう！
1. あらゆるテロにも戦争にも反対！「抵抗とヒューマニズム」の精神を根底に、憲法9条改悪、労働諸法制改悪を阻止するために、連帯する仲間と共にたたかおう！

6月17日～18日、ソニックシティ小ホールにてJR東労組「第45回定期大会」が開催され、運動方針等が満場一致で可決されました。10年先の組織を見据え、職場から実践することを確認しました。

大船支部からの発言(要旨)	大船支部 執行副委員長 塚本 智章	駅に異動となり5年が経過。前職場にいた運輸区とは違い組合活動がほぼ無いなかで、まずは仕事を覚えることから始めた。組合員が自分1人だけの辛いときもあったが、その後組合員の転入や未加入者の協力もあり、現在ではレクや飯づくりを行い未加入者とも関係を築いてきている。過半数選に立候補し、勝利をめざしていく。
	大船支部 執行委員長 森田 隼士	支部にきて3年、当初は支部運動の殆どを1人で担っていたが、対象者を描いて実践している仲間の教訓を知ったことで転換し、役員の強化をめざしてきた。塚本代議員の組織拡大の実践を自分は知らなかった。掘り下げを深めることで新たな現実を知ることができる。現実把握に拘り、組織強化・拡大をめざしていく。

本部第35回情報コンクール

大船支部から
2機関が受賞！！



【支部の部】最優秀賞
大船支部「おおふな」

【地本特別推薦賞】
鎌倉駅分会「なかまとくらす」



組織の未来を見据え、職場からの実践で組織強化・拡大を実現しよう！！